

平成29年度 千歳ブロックの研究

研究主題

自分のからだと向き合い、主体的に生きていく子どもの育成をめざして

主題設定の理由

私たちがおかれている環境・社会は大きく変化し、子どもたちの生活や健康観も多様化している。また、保健医療は向上進歩しているが、子どもたちのからだや心をめぐる問題はより複雑で多岐にわたるものとなってきた。保健室で日々子どもたちと向き合う私たちも戸惑う場面は少なくない。自分の心やからだを大切に、仲間を認め合い、自分のからだを自分で守っていくことができる子どもを育てるために、様々な場面から対応の手立てや支援のあり方を考える必要がある。

また、平成27年度、学校保健安全法施行規則の一部改正と共に、健康診断の項目が変更された。単なる項目の削除にとどまらず、より細かく子どもたちの健康状態を把握し、生涯保健の一部として位置づけられていく方向が示された。私たちは、求められている学校保健のあり方を学習し、さらに子どもの視点から見直すことで、執務を確立していきたい。健康診断に限らず、子どもたちをめぐる様々な問題にも視点をもち、子ども自身が主体となって問題に向き合えるように対応の手立てや支援のあり方を探っていきたい。

研究の仮説

「子どもにとっての安心・安全」、「子どもが自分のからだと向き合い自分らしく」といった「子どもが主体」となる視点から私たちの執務、あるいは私たちの執務を含む学校全体を見直すことにより、子どもの実態と課題が明らかになる。その課題解決のために、支援のあり方を探り、実践することで、子どもが自分のからだと向き合い、主体的に生きていく力を身につけることができるようになる。

研究内容

「子どもが主体的に」という視点での見直しからみえた課題を解決するため、保健行事や日常執務を工夫し、実践する。

研究方法

- ・昨年度学習を深めて執務を見直した「健康診断」「校務支援システム」「フッ化物洗口」「災害時の保健室の役割」の4つのグループにわかれる。「子どもが主体的に」という視点での見直しからみえた課題を解決するため、グループ内で方策を検討し、実践する。
- ・理論研修会または実技研修会を行う。
- ・中学校区の交流を行う。